

科目名	医用治療機器学実習 ②			授業の種類	実習	講師名	
授業回数	30 回	時間数	60 時間 2 単位	必修・選択	必修	配当学年 時期	3年 通年
【授業の目的・ねらい】 臨床工学技士は臨床現場において様々な医用機器を取り扱う。その対象は複雑な機器から簡易な機器まで様々である。本実習では自ら機器の操作方法を身につけるだけでなく、機器の安全で適切な使用についての知識を修得すると共に、国家試験合格に向け十分な学力を身につける。							
【実務者経験】 臨床工学技士として福岡市立こども病院等で、新生児や小児の人工心肺業務や呼吸・集中治療室業務に従事経験。							
【授業全体の内容の概要】 機器を操作しながら基本的な操作方法を身につける 簡易取扱い説明書を作成することで、より深く機器の特徴を知り、他者へ伝える力の醸成を図る							
【授業終了時の達成課題（到達目標）】 ・対象機器の使用手順に基づき、機器を操作できるようになる ・機器の警報やトラブル対処方法をわかりやすく説明できるようになる ・対象者の立場にたって物事を考えることができるようになる							
回数	講義内容						準備物(教材)
16	電気メス、除細動器、急性血液浄化装置の概要を学ぶ③						
17	電気メス、除細動器、急性血液浄化装置の基本操作ができるようになる③						
18	電気メス、除細動器、急性血液浄化装置の注意点を説明できるようになる③						
19	自らの不得意な機器について再度学びを深める						
20	基本的な操作方法を再確認する						
21	使用上の注意点を再確認する						
22	前期に学んだ内容について演習問題に取り組む①						
23	前期に学んだ内容について演習問題に取り組む②						
24	前期に学んだ内容について演習問題に取り組む③						
25	前期に学んだ内容について演習問題に取り組む④						
26	前期に学んだ内容について演習問題に取り組む⑤						
27	前期に学んだ内容について演習問題に取り組む⑦						
28	治療機器学の国家試験問題を解けるようになる①						
29	治療機器学の国家試験問題を解けるようになる②						
30	復習とまとめ						
定期筆記試験							
【使用教科書・教材・参考書】 ・臨床工学講座 医用治療機器学、篠原一彦、医歯薬出版株式会社 ・臨床工学技士標準テキスト 第3版、小野哲章、金原出版株式会社							
【準備学習・時間外学習】 ・実習を円滑に進めるため、事前の実習機器の概要を学んでから講義に臨んでください ・実習後は速やかに報告書の作成と実技の習熟に取り組んでください							
【単位認定の方法及び基準（試験やレポート評価基準など）】 試験の結果を100点満点として成績を評価する 提出物の評価を60点、定期試験を40点として合計100点とする 60点以上の場合に科目を認定する							